

神秘の王国 邾国王墓展

1期：平成10年9月12日(土)～11月1日(日) 2期：11月20日(金)～平成11年2月21日(日)

山口県立萩美術館・浦上記念館

休館日：月曜日(月曜祝日の場合は、その翌日) 開館時間：9時00分～17時00分(入場は16時30分まで)
主催：山口県立萩美術館・浦上記念館、山東省文物事業管理局、朝日新聞社、YAB山口朝日放送
入場料：一般500(400)円・大学生350(250)円・高校生以下無料
※ただし、10月10日(土)～11月1日(日)の間は、なそのタイムカプセル封印された南宋陶磁展の料金
()内は20名以上の団体割引料金



〈写真上〉銅甬鐘(ようじょう)―青銅で作った鐘形の打楽器―高さ55.5cm

〈写真右〉銅方壺―酒を入れる青銅の壺―高63.5cm



■期間中の展覧会

教育・文化期間(11月1日～7日)は、一般・学生とも無料です。

《浮世絵》

- 浮世絵に描かれた美人たち①「遊女」
9月12日(土)→10月4日(日)
- 「戯画」 10月10日(土)→11月1日(日)
- 「雪景色」 12月1日(火)→12月27日(日)
- 「歌川芳年Part1・Part2」
平成11年1月5日(火)→2月21日(日)

《東洋陶磁》

- 「古染付の世界」
7月25日(土)→10月4日(日)
- 「館蔵中国陶磁」
12月1日(火)→平成11年2月21日(日)

《特別展》

- なそのタイムカプセル封印された南宋陶磁展
10月10日(土)→11月15日(日)
- 《小企画展》
● 「相撲絵」展
11月3日(火)→11月29日(日)



山口県立萩美術館・浦上記念館
HAGI URAGAMI MUSEUM

シリーズ山東文物①

神秘の王国—邾国王墓展

1995年に山東大学考古系学生の実習によって発掘された長清県仙人台遺跡で、西周晩期から春秋晩期に至る6基の墓が発見され、出土した青銅器の銘文から、これらが邾国の墓であることが判明しました。

古い文献によると、邾国は周代の魯国の属国で済寧の東南にあったとされ、春秋時代紀元前560年に魯に滅ぼされたことなどがわずかに知られていました。しかし、この発見によって、文献に記載された邾国の位置の誤りが正され、1995年の全国十大考古新発見に選ばれました。これは山東省考古学上、空前のできごとであり、中国の周代考古学においてもまれなことです。

特に六号墓(M6)は、15点の銅と8点の墓を含む規格の高い170点余りの副葬品が出土し、国君の墓と考えられています。また、驚くことに、この中の編鐘と編磬という楽器は、同じG調の音階で調律されていることが判明しています。埋葬の際のおまつりで合奏されたのでしょうか、あるいは、王が生前好んで演奏させた楽器なのでしょう。

今回の展覧会は、「シリーズ山東文物1」として、仙人台遺跡六号墓の出土遺物を一括展示し、神秘の王国—邾国王墓の全容を紹介します。

「シリーズ山東文物」は、一回の展示期間を約半年とし、陶磁器や陶磁器の祖形としての青銅器、さらには中国文化そのものを理解するために、50~60点程度で構成するわかりやすい個別的テーマを選んで継続的に展示することを基本構想としています。



銅鼎—食物を煮炊きする青銅の三足鍋—高32.5cm



銅簋—穀物を盛る青銅の器—高24.1cm

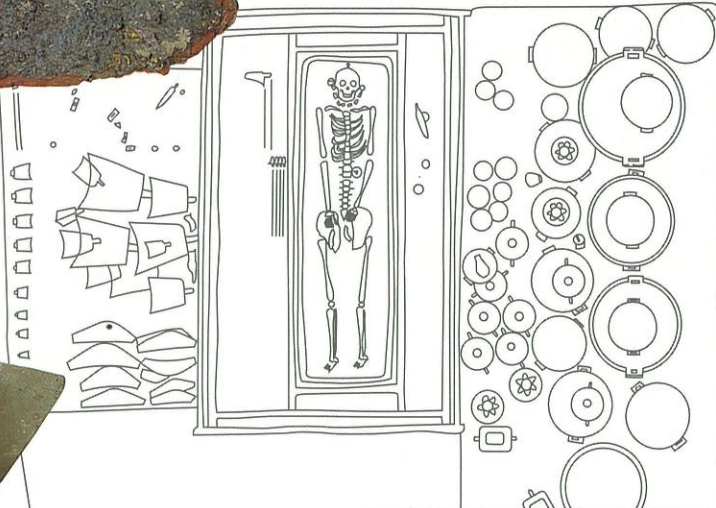


銅圓壺—酒を入れる青銅の壺—高43.7cm



銅鉄戈—援を鉄・内を銅で作った首に打ち込む武器—長27.5cm

石磬—石で作った打楽器—長64.0cm



交通のご案内

JR東萩駅=タクシー10分/徒歩30分
JR小郡駅=バス70分(萩バスセンター下車徒歩15分)
石見空港(島根県益田市)=バス75分
(萩バスセンター下車徒歩15分)
中国自動車道=小郡I.C. 美祿I.C.から各50分



山口県立萩美術館・浦上記念館
HAGI URAGAMI MUSEUM

〒758-0074 山口県萩市平安古586-1 TEL0838-24-2400 FAX0838-24-2401



銅豆
食物を盛る台脚のついた青銅の器
高32.0cm



六号墓の発掘—1995年—

記念講演会

『中国山東長清周代邾国墓地の発掘及びその意義』

日時 9月12日(土) 10:30~12:00<当館講座室>

講師 任 相宏氏(山東大学考古系副教授)

定員 100名<受講無料>

※「記念講演会」係あてに往復はがきでお申し込み下さい。

ギャラリートーク

9月13日(日)、11月28日(土)、平成11年1月23日(土)

いずれも11:00~12:00